



石の枕

「神が思いがけなく来られる」(マラキ3の1～5、13～18)
 この聖書の御言葉は、詩人ミルトンの信仰を思い起こさせます。
 ミルトンは晩年、失意の中にありました。クロムウェルの死後、イングランドは再び王政に復古し、彼は挫折の中に日を送っておりました。その上両眼とも失明しておりました。そういう状態で「楽園喪失」「楽園回復」「闘士サムソン」などの詩を作ったわけです。世を嫌う厭世思想家になったとしても少しも不思議はなかった状態だったと思います。その人の社会状況、時代状況から言えば、ニヒリストになっても何の不思議もありませんでした。
 しかし、ミルトンはそうなりません。その詩にあらわれた精神は、悲哀感を帯びてはいますが、世界の中で闘い続ける生き方を示し続けました。マックス・ウェーバーはその点に感銘を受けて、中世の人ではとても考えられない「現世に対する厳粛な態度」があると指摘しています。
 何が理由でしょうか。それは彼の信仰にその理由があったと思います。「闘士サムソン」の最後に「すべては最善だ」(All is best)と歌うところがあります。そこで言うことは、「神は御顔を隠しているように見えるけれども、しかし思いがけなく帰って来る」というのです。ですから決して絶望はできません。人生を捨てることはできません。人生を投げはいけません。(近藤勝彦著)

<クリスマスとボーナス> この2つの言葉は年末の同じ時期に重なるように用いられ新聞紙上をもにぎわす。ボーナスはラテン語の「ボヌス」から出てきた語で「意外な恵み」が原意に近い。予期せぬ良き贈り物をはからずも与えられたのがボーナスであるなら、予定どおり、計算した額を受け取ったという賞与はボーナスとはならないのかも知れない。

一方、クリスマスは全く予想もつかない仕方で神の独り子が与えられたことを感謝することである。我らの救いのため、死ぬために誕生せしめられた主イエス様を憶える。この予期せぬクリスマスこそ、我々にとって最高のボーナスとなるのです。(山北宣久述)

※一本の木があった。二つの幹がついていた。一方の幹は切り取られ、ベツレヘムの飼葉桶のために使われ、もう一方は30年後に十字架のために使われた。
 (シリアの民話)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
 Aコース: 黙示録11章～17章 Bコース: ミカ書4章～ゼカリヤ書3章

「幻なき民は滅びる」

(箴言二十九の十八・文語訳)

司会 ①山本登兄 ②塩野兄 ③中村勝兄
 奏楽
 祈禱 ①三浦兄 ②川田兄
 賛美 讃美歌112番 (Jesus イエス様♪)

「3つの愛」

聖書 ① ルカによる福音書2章1～7節
 ②③ マタイによる福音書2章1～12節

音楽 ① 倉知契師
 ②③ 宮川由起子姉

メッセージ ① 「拒絶からのクリスマス」 梶山直樹副牧師
 ②③ 「夢に生きるクリスマス」 大川従道牧師

賛美 讃美歌106番(献金)
 頌栄 「それ神はそのひとり子を」 アーメン
 祝禱

【大和ニュース】

- ・ メリークリスマス!! 主イエス様のご降誕を心からお祝いし、礼拝を捧げます。
- ・ 受洗おめでとございます! ①長谷雅美兄(青) ②高崎竜馬兄(青)
 ③岩松千絵姉(エステル) ④井上みな美姉(青) ⑤渋谷省吾兄(青)
 ⑥橋浦奈摘さん(小5) ⑦高山せいかさん(小3) ⑧唐澤恵さん(小4)
- ・ 本日、入門Ⅲ、GM、総会、ヤンチャ、青年会(5時)、VIP横浜日吉等々。
- ・ 今週はXマススペシャルです。「福音礼拝」は火曜昼2時半、説教は倉知師。
- ・ 「ベーチエヨルリサイタル」は、23日(水・祝)2時半。完売。駐車場大混雑。バス有り。
- ・ 「イブ礼拝」は、24日(木)夜8時。説教は大川師、音楽は総出演。駐車場混雑。バス有り。
- ・ 「Xマス礼拝」は25日(金)朝10時半。説教は柴田師、音楽はCBDとCBS。
- ・ 「英語礼拝」は26日(土)18:50。説教はオカムラ宣教師。
 (英語礼拝は、1月9日から新しいスタイルで。毎週土曜6:00pm～6:59。)
- ・ 最後の「準祈」は金曜夜9時。説教は佐々木補。 ※大掃除は土曜11時。
- * 今年も一年間守られたことを感謝し「年末感謝献金」を捧げましょう。袋は受付。